

HORIBA, Ltd.

Nomura Investment Forum 2017

日本語資料

November 29, 2017

Hotel Chinzanso, Tokyo

説明内容

- 2017年12月期 実績・予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

※本プレゼンテーションにおける2015年の実績は、2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値を記載しております。

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

説明内容

- 2017年12月期 実績・予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

2017年の振り返り

外部環境

- ◆ トランプ政権発足
- ◆ 英国EU離脱通告→英国総選挙
- ◆ フランス大統領選挙→日欧EPA大枠合意
- ◆ 半導体業界活況
- ◆ 自動運転、電動化、排ガス規制

内部状況

- ◆ 新拠点・設備開設(米国、英国、韓国)
- ◆ 上場来高値更新、時価総額3,300億円突破
- ◆ 働き方改革

2017年12月期 1-9月実績・通期業績予想

★: 過去最高
(単位: 億円)

1-9月実績 : 自動車・半導体好調により、過去最高の売上高と利益を更新
通期業績予想 : 売上高、利益、配当予想ともに上方修正

	1-9月		通期				
	実績		実績	2017年予想			
	2016年	2017年	2016年	年初予想 (2/14)	前回予想 (8/4)	今回予想	VS 前回予想
売上高	1,169	★1,322	1,700	1,770	1,870	★1,900	+30
営業利益	106	★146	184	200	220	★230	+10
経常利益	103	★143	182	193	213	★220	+7
親会社株主に帰属する 純利益	72	★107	129	130	145	★150	+5
配当(円)			85	90	90	★95	+5
USD(円)	108.57	111.89	108.78	110	110	111	+1
ユーロ(円)	121.06	124.58	120.26	120	120	127	+7

(単位:億円)

売上高・営業利益 (1-9月実績・通期業績予想)

売上高	2016年 1-9月	2017年 1-9月		2016年 通期	2017年 通期		2017年 通期	
	実績	実績	vs前年 同期	実績	今回予想	vs前年	前回予想 (8/4)	vs前回 予想
自動車	394	★453	+59	622	★710	+87	710	-
環境	118	★120	+2	167	★170	+2	180	▲ 10
医用	197	185	▲ 12	265	250	▲ 15	250	-
半導体	277	★385	+108	388	★510	+121	480	+30
科学	181	177	▲ 3	257	260	+2	250	+10
合計	1,169	★1,322	+153	1,700	★1,900	+199	1,870	+30
営業利益	2016年 1-9月	2017年 1-9月		2016年 通期	2017年 通期		2017年 通期	
	実績	実績	vs前年 同期	実績	今回予想	vs前年	前回予想 (8/4)	vs前回 予想
自動車	0	★22	+22	35	57	+21	57	-
環境	11	4	▲ 7	15	6	▲ 9	11	▲ 5
医用	22	12	▲ 9	28	17	▲ 11	17	-
半導体	71	★111	+40	96	★145	+48	130	+15
科学	1	▲ 4	▲ 5	9	5	▲ 4	5	-
合計	106	★146	+39	184	★230	+45	220	+10

【1-9月実績】

◆自動車

規制強化(排ガス)と自動車メーカーの投資回復(MCT)により増収増益

◆半導体

半導体メーカーの旺盛な設備投資が継続し増収増益

【通期業績予想】

◆半導体

好調な需要環境を鑑み
上方修正

◆科学

中国・アメリカなどでの販売
好調により上方修正

◆環境

米州での販売低調により
下方修正

売上高・営業利益（四半期毎、実績・予想）

（単位：億円）

売上高	2016年					2017年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q予想	通期予想
自動車	149	131	112	227	622	173	133	147	256	710
環境	41	36	40	49	167	41	38	39	49	170
医用	69	68	59	67	265	60	62	61	64	250
半導体	86	92	98	110	388	122	124	138	124	510
科学	65	58	57	76	257	58	56	62	82	260
合計	412	387	369	531	1,700	456	416	449	577	1,900

営業利益	2016年					2017年				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q予想	通期予想
自動車	11	▲ 5	▲ 4	34	35	21	0	1	34	57
環境	6	2	2	4	15	1	1	1	1	6
医用	8	7	6	5	28	4	3	3	4	17
半導体	23	21	26	25	96	34	32	43	33	145
科学	2	0	▲ 1	8	9	▲ 0	▲ 3	▲ 0	9	5
合計	51	26	28	78	184	61	35	49	83	230

【3Q実績・4Q予想】

◆自動車

- 3Qでは、規制強化需要などにより前年より増収増益
- 4Qも好調継続予想

◆半導体

- 3Qでは、大口案件などにより売上高・営業利益ともに大幅増
- 4Qも高水準継続予想

受注の状況

(単位:億円)

自動車・半導体好調により、3Qでは過去最高の受注/受注残

	受 注					受 注 残		
	2016		2017			2016		2017
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	3Q末	4Q末	3Q末
自動車	186	221	173	195	222	495	489	627
環境	36	50	37	45	50	42	43	55
医用	56	66	66	62	60	35	34	39
半導体	104	118	144	127	131	50	58	76
科学	58	86	51	60	75	79	90	99
合計	442	543	473	491	540	703	715	898

説明内容

- 2017年12月期 実績・予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- 会社概要紹介

2017年市場環境の想定

自動車



欧州・日本での排ガス規制強化により、
国内外自動車メーカーや、部品メーカーの投資意欲は旺盛

環境



中国での環境規制強化
半導体工場増設で水処理設備もチャンス拡大

医用



国内：開業医市場の需要は堅調
海外：欧州や南米での需要減少

半導体



半導体メーカーの設備投資は堅調に推移
3D-NAND需要増加に伴うエッチング装置の需要増加

科学



先進国での研究関連予算の減少
光学部品の民間需要は堅調

自動車

2017年1-9月実績/2017年通期予想

(単位: 億円)

2017年1-9月実績

- +** 排ガス 全世界での規制対応により販売増加
- +** MCT 自動車メーカーの設備投資回復による販売増加
- ECT MIRA日本チーム設立による費用増加

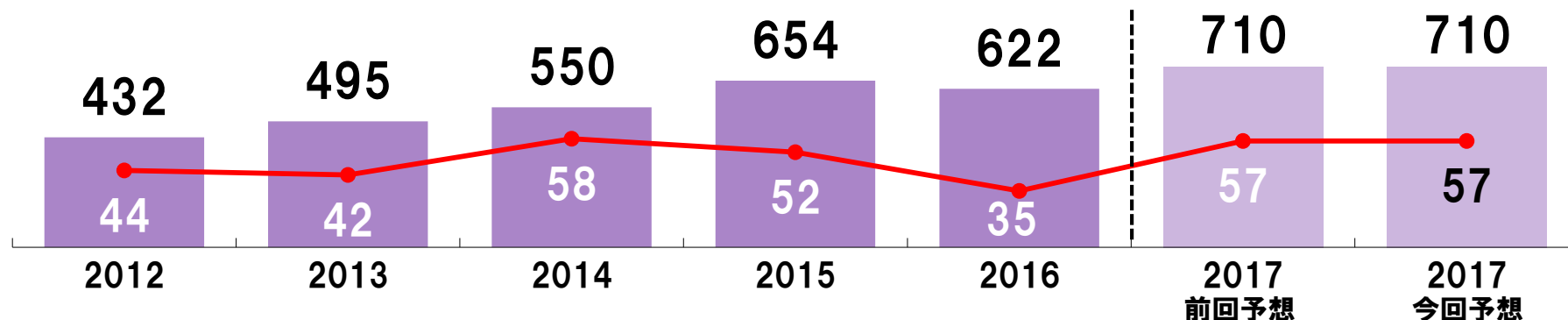
	2017年1-9月期 売上高実績(前年実績)
排ガス	280 (251)
MCT	101 (74)
ITS	13 (12)
ECT	58 (55)

2017年通期予想

- +** 排ガス 規制対応需要が継続
- +** MCT 受注案件の確実なデリバリーを実現し、増収
- ECT 積極投資による受注拡大も、収益効果は翌年以降

	2017年通期 売上高予想(前年実績)
排ガス	440 (401)
MCT	180 (132)
ITS	20 (16)
ECT	70 (71)

売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益



自動車 次世代排ガス規制への対応

(単位:億円)

排ガスビジネス:次世代排ガス規制への取り組み

WLTP^{※1}(国連提唱の世界統一排ガス試験法) <売上高・受注残推移>

➡ EUで2017年9月開始、
日本では2018年10月開始予定

RDE規制^{※2}(実路排ガス規制)

➡ WLTPと同じくEUで2017年9月開始、
日本では2022年開始予定

※1 Worldwide harmonized Light vehicles Test Procedure

※2 Real Driving Emission



先進的排ガス試験設備(Advanced Emissions Test Centre : AETC)開設

稼働日:2017年7月5日

場所:英国・ホリバMIRA社敷地内

機能:最新排ガス試験設備

➢室内での実路走行再現

➢温度変化や高地シミュレーション

狙い:RDE規制に関するビジネス強化

外観



試験設備



自動車 電動化・自動運転技術開発への貢献

(単位:億円)

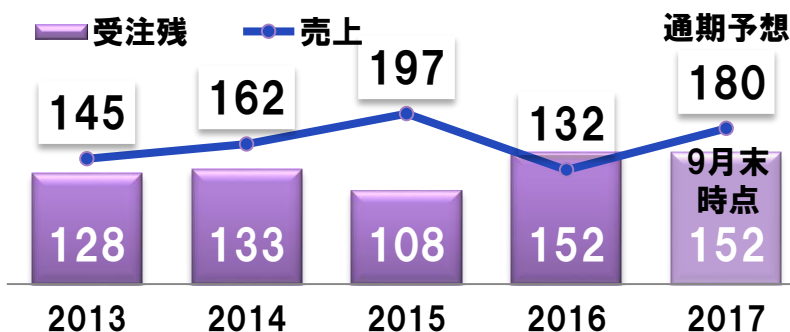
MCTビジネス:電動化への対応

2017年は販売増により収益性改善

- 自動車メーカーの設備投資回復
- ターンキービジネス※拡大で受注確保

※エンジン排ガス測定装置と自動車試験装置を融合させた
総合提案型のビジネスモデル

<売上高・受注残推移>



HORIBAのビジネス領域

- 駆動系・電気モーターなどの単体システムから
実車評価までカバーする柔軟なシステムを提供

電気モーター試験設備



電気自動車の試験

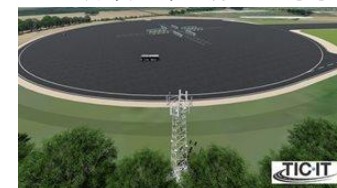


- ➡ ホリバMIRA社でのバッテリー制御システムの
評価設備拡充など、ビジネス領域を拡大

ECTビジネス:ホリバMIRA社、自動運転車両開発事業を落札

- 英国政府主導の補助金事業を落札
- ホリバMIRA社の敷地内に、自動運転車両の通信機能の検証や、
衝突・車両旋回といった多目的試験を行う設備を建設

試験設備完成予想図



2017年1-9月実績/2017年通期予想

(単位: 億円)

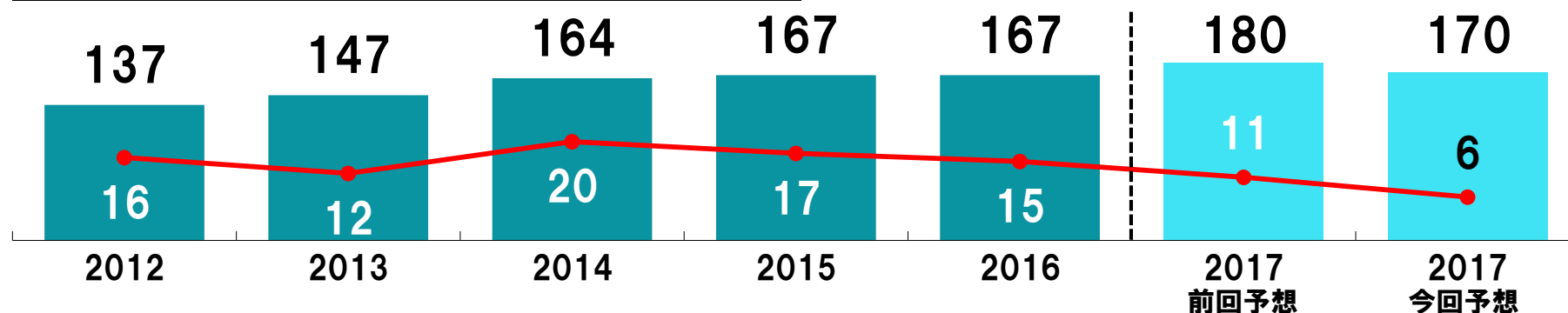
2017年1-9月実績

- + 煙道排ガス分析装置は、国内:リブレース需要堅調、中国:VOC規制で販売堅調
- + 国内水質計測装置の需要堅調も、販売は想定より伸びず

2017年通期予想

- + 煙道排ガス分析装置 ➡ 国内でのリブレース需要の確実な取り込み
- + 中国のVOC規制 ➡ さらなる需要拡大に期待
- + 北米のプロセス計測設備ビジネスは引き合い活発だが、販売低調

売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益



プロセス計測設備ビジネスへの投資 : ヒューストン新工場完成

稼働日: 2017年4月1日

場 所: 米国テキサス州ヒューストン

機 能: 環境計測機器・プロセス計測設備の生産
科学・医用関連のサンプル試験

狙 い: 生産能力強化によるビジネス拡大

外観



アナライザーハウス※



※分析計、サンプリング装置を組み込んだシェルター。各プロセスにおける計測機器をシステム化し、お客様に一括で提供

水質計測ビジネスの拡大

アンモニア態窒素計「HC-200NH」

- 東京都下水道局との共同研究を経て2016年発売
- アンモニア態窒素濃度の常時計測により、下水処理電力削減に貢献

HC-200NH



海外の大規模下水処理場へビジネス拡大

2017年1月より水計測リソースを
グループ会社の
堀場アドバンステクノに集約

- 開発・生産のスピードアップ
 - ➡ 新製品投入の加速
- マーケティング機能の強化
 - ➡ 半導体メーカーへの環境製品アプローチ

2017年1-9月実績/2017年通期予想

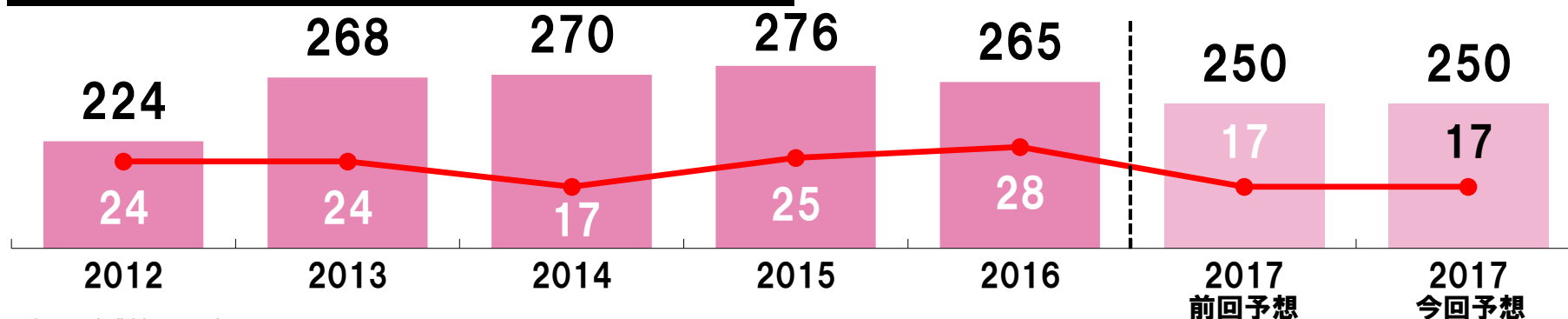
(単位: 億円)

2017年1-9月実績

- +- 日本での自動血球計数CRP測定装置の販促強化による費用増加
- +- 欧州・南米での販売減、フランスからの新製品投入も効果は2018年以降

2017年通期予想

- 日本での自動血球計数CRP測定装置の競争激化
- +- 新製品投入による米国FDA承認取得費用、販売促進費用の増加

売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 —●— 営業利益

医用

ビジネス拡大に向けての新製品投入

中・大型血球計数分野での最新検査システム “HELO Solution”

◆ 強み

- 柔軟なレイアウト対応
- 診療データ管理システムを含めたトータルソリューションを提案

◆ 製品展開スケジュール

- 2017年2Qからグローバル展開
- ブラジル、英、仏で据付開始

最新検査システム
HELO Solution
(2017年発売)



ブラジルでの顧客ラボ
据付完成予定図



新興国向け新製品 “Yumizen H550”

◆ 強み

- 自動装填装置付小型血球計数装置
- 様々な環境でも安定した精度の高い測定

◆ 製品展開を支える販売・生産基盤

- HORIBAのグローバルネットワークを活用
- 大量消費地での試薬(消耗品)の現地生産



Yumizen H500
(2016年発売)



新製品 Yumizen H550
(2017年発売)

半導体

2017年1-9月実績/2017年通期予想

(単位: 億円)

2017年1-9月実績

- ⊕ 売上高・営業利益ともに過去最高
 - アジアでの半導体投資増加
 - 3D-NANDプロセスでのエッチャー需要増加
- ⊕ マスフローコントローラー(MFC)の生産量は過去最高水準

2017年通期予想

- ⊕ 半導体メーカーの設備投資需要は堅調
- ⊕ 引き続き高水準なMFCの生産量

半導体市況及び

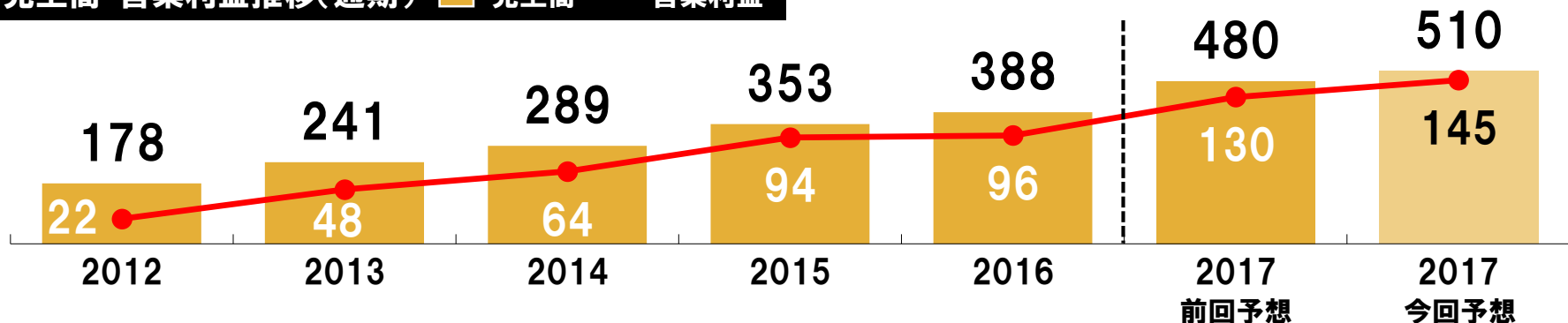
MFC関連市場トピックス

- データセンターのメモリー移行
⇒半導体需要の大幅増加
- 半導体製造技術の変化
(微細化、3D-NAND、多層化)
⇒エッチング需要の拡大

HORIBAの強み

高精度なMFCを安定供給できる
ビジネスポートフォリオ

売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益



半導体 さらなる安定供給の実現

生産拠点への投資(阿蘇・韓国)

◆ 堀場エステック阿蘇工場増設

金額:約27億円 / 完成:2017年12月(予定)

狙い:MFCの生産能力拡大(延床面積約1.5倍)

◆ 堀場エステック・コリア社 新社屋開設

稼働日:2017年4月1日 / 場所:韓国ヨンイン市(ソウル郊外)

狙い:生産能力強化、エンジニア増員、教育施設の増強



堀場エステック阿蘇工場工事状況



堀場エステック・コリア社新社屋

半導体市場の動向

半導体メーカーの
投資コントロール

シリコンサイクル縮小

市場安定成長へ

品質精度向上に向けた取り組み

◆ ガス校正に関するISO/IEC 17025※認定取得

- 堀場エステック京都福知山テクノロジーセンター
- 校正するための測定システムを自社開発
- = より高精度なMFCの安定供給へ

※ISO/IEC 17025…品質面における
運営システムの要求事項+試験・校正
実施に必要な技術管理の要求事項



堀場エステック
京都福知山テクノロジーセンター

◆ 半導体デバイスメーカーと次世代半導体プロセスにおける材料開発

2017年1-9月実績/2017年通期予想

(単位: 億円)

2017年1-9月実績

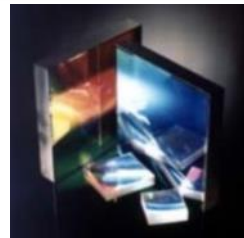
- ⊕ 米、欧にて分光分析装置のコア部品の販売が好調
- ⊖ 日、米、欧にて大学向け製品販売が低調 ⇔ ⊕ 中国向け好調
- ⊕ ⊖ 新製品投入に向けて開発費用増加

2017年通期予想

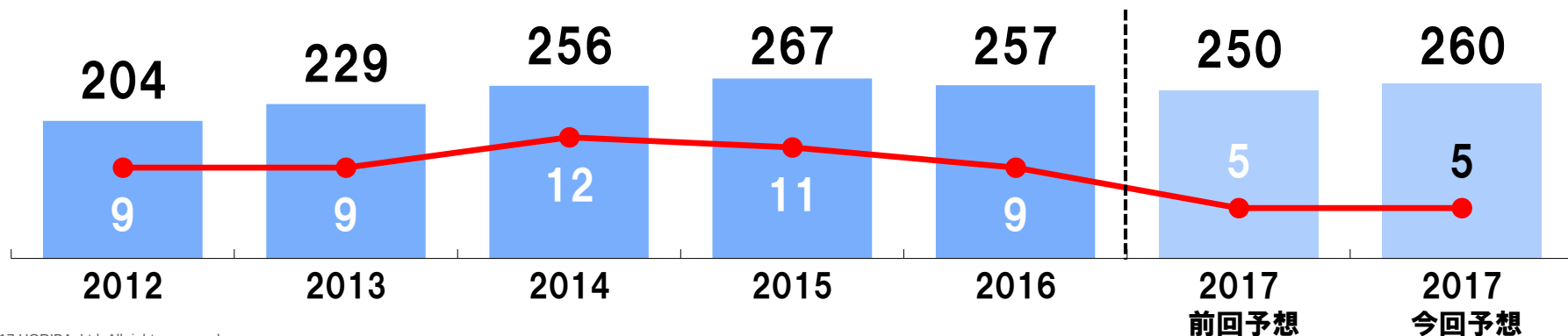
- ⊕ 分光分析装置のコア部品販売は堅調に推移
- ⊖ 日、米、欧にて大学向け製品の需要低調
- ⊕ お客様のニーズに合わせた製品カスタマイズによる新規市場開拓

グレーティング (回折格子)

- ・分光分析装置のコア部品
- ・世界トップレベルの技術



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益

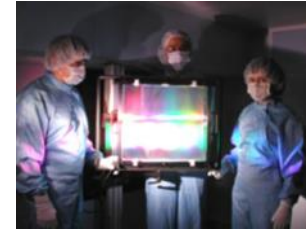


科学

HORIBAの技術を支える科学セグメント

フランス発のコア技術「グレーティング(回折格子)」

- ◆ 高強度レーザー向け特殊グレーティングの需要増
- ◆ 半導体製造装置メーカー向け
グレーティングを組み入れた分光器の需要増



特殊グレーティング



分光器

ホリバ・フランス社(旧ホリバ・ジョバンイボン社)

- ◆ グレーティングの量産技術を確立した分光分析装置の老舗メーカー
 - 1819年 創立 (2019年 創立200周年)
 - 1997年 HORIBAグループの一員に (統合20周年)

ホリバ・フランス社
ヨーロッパ・リサーチセンター(仏)

レーザー回折/散乱式粒子径分布測定装置が第9回レーザー学会産業賞「優秀賞」を受賞

- ◆ 国内産業の発展に貢献するレーザーに関係する製品・技術が受賞
 - 粒子にレーザー光を照射し、粒子サイズを求める装置
 - 電子部品・電池・食品・研磨剤・薬品など様々な分野の粉体の開発や品質向上のために使用



粒子径分布測定装置



説明内容

- 2017年12月期 実績・予想
- セグメント別詳細説明
- **株主還元**
- その他トピックス
 - 財務データ
 - 会社概要紹介

株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&A等)

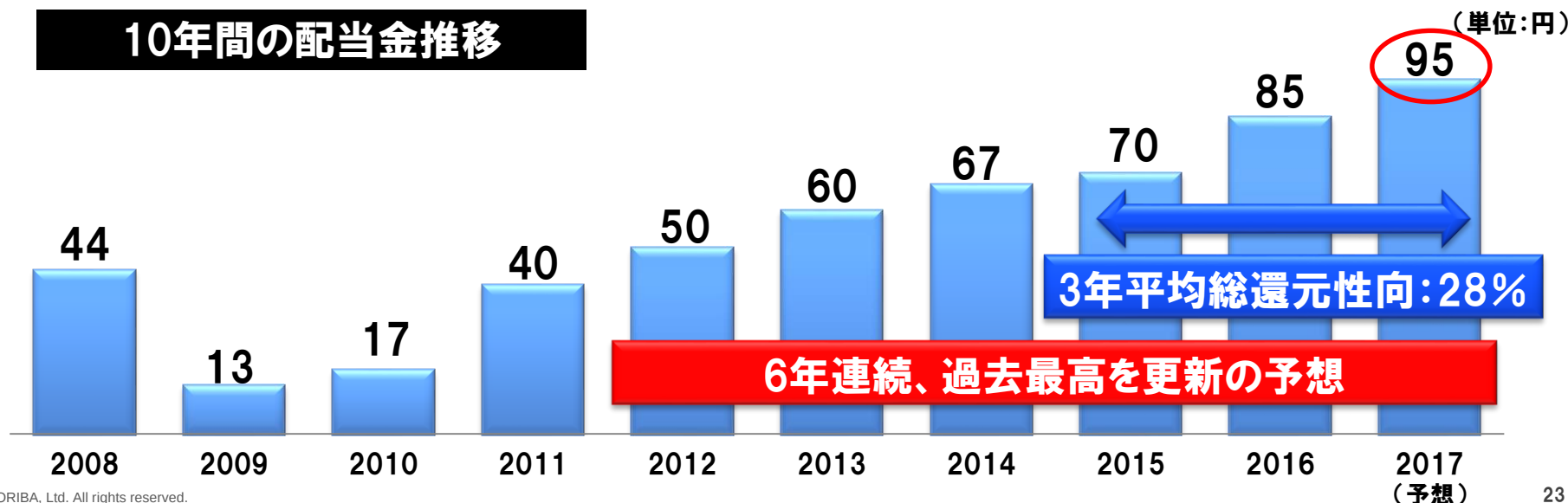
配当金及び自己株式の取得

2015年実績 70円 [中間 28円、期末 42円] + 自己株式取得(9.9億円)

2016年実績 85円 [中間 30円、期末 55円]

2017年予想 95円 [中間 40円、期末 55円] (前回予想から5円上方修正)

10年間の配当金推移



説明内容

- 2017年12月期 実績・予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
 - 財務データ
 - 会社概要紹介

役員人事（2018年1月1日付）

2017年10月24日の取締役会にて、以下の役員人事が決定

氏名	2018年1月1日～	現在
堀場 厚	代表取締役会長 兼グループCEO	代表取締役会長兼社長
齊藤 壽一	代表取締役副会長 兼グループCOO	代表取締役副社長
足立 正之	代表取締役社長	専務取締役

◆人事異動の狙い

- グループ経営力の強化
- グループ経営体制の明確化
- 堀場製作所の更なる技術力と開発力強化

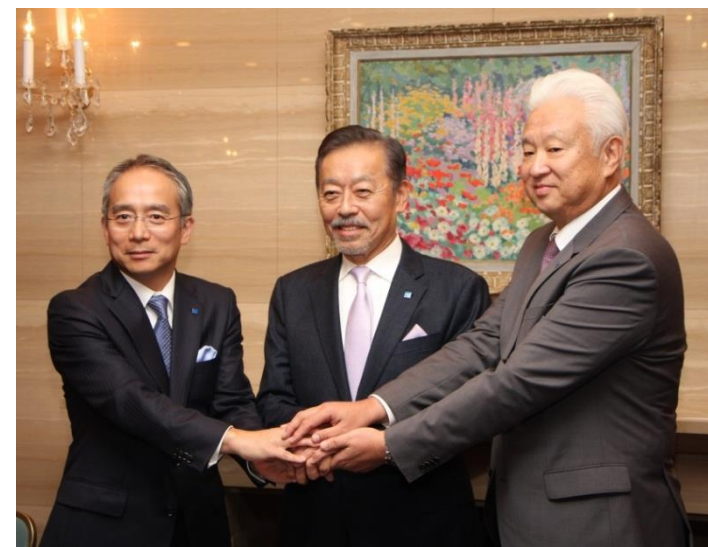
◆今後の役割

堀場：ガバナンスの強化や企業文化の浸透を通じて、グループ全体を統括

齊藤：グループ全体を統括し、具体的な戦略をリード

足立：堀場製作所の経営に注力し、ヘッドクォーターとしての機能を強化

同日開催の記者会見の様子(京都市内)



ホリバABX社、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス社と長期的パートナー契約締結(10月9日)

◆契約締結の背景

両社が長期的なパートナーとなることで、体外診断に関する医療現場の様々なニーズに対応し、更なる事業拡大をめざす

- ホリバABX社(仏、当社子会社)
長年にわたり血液の分析・計測技術を蓄積
- シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス社(米)
検査装置、画像診断装置、治療システムなど総合的ヘルスケアを提案

◆今後の対応

- シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス社が保有する先進の技術と融合し、より多くのアプリケーションへの製品展開を推進
- HORIBAからはYumizenブランドを軸に、革新的ソリューションの提供を継続

最新検査システム HELO Solution
(2017年発売)



働き方改革の実現に向けて

ステンドグラス・プロジェクトの取組み

STEP1
2014年

- 「女性活躍推進」からスタート

STEP2
2015年～

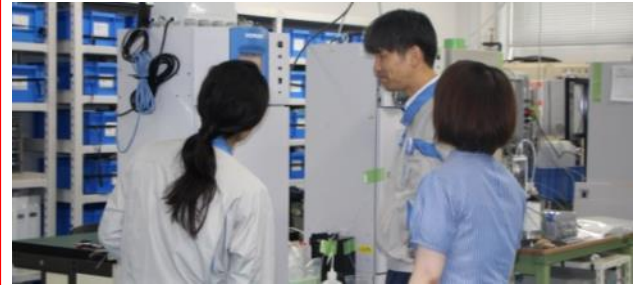
- 「働き方改革」ワークショップ開始
- テーマ「一人ひとりの行動変化」

STEP3
2016年～

- 経営・人事・現場をつなぐステンドグラス
- 現場・組織毎の特徴を生かす

カエル会議(2017年5月～)

- 111名・18チームが参加
- テーマ「業務の効率化」
「個人のスキルアップ」
- 70個のアイデアが登録



健康経営優良法人2017に認定

優良な健康経営を実践している企業等の法人を顕彰する制度
(経済産業省が認定制度を設計し、日本健康会議が制度運営)

HORIBA
評価ポイント

経営トップによる「“こころとからだの健康づくり”宣言」
組織横断的プロジェクトや担当部署が独創的な企画



HORIBAステンドグラス・プロジェクト

～多様な人財が輝き、強いHORIBAを実現する～

<ゴールイメージ>



1. 多様性でHORIBAの企業競争力を向上する

- 性別・世代・グループ・国籍・雇用形態・障がいなどを越えた多様性を力とし、全員が意識の壁に気づき、挑戦することでイノベーションを促進する



2. 次世代リーダーや多様な働き方のロールモデルを創出する

- 成功事例の発掘および創出を支援し、社内外へ周知する

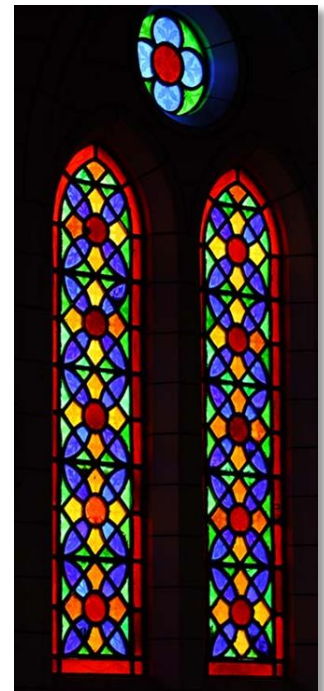


3. 組織と個々の付加価値と時間当たり生産性向上を実現する

- 働き方の抜本的改革による、ワークライフバランスの実現で個々の付加価値を向上する

<プロジェクト体制>

- プロジェクトオーナー: 代表取締役副社長
- アドバイザー: HORIBA初の女性理事
- プロジェクトリーダー: 活動の提案者・女性管理職
- 活動メンバー: グループ会社から多様な人財で構成

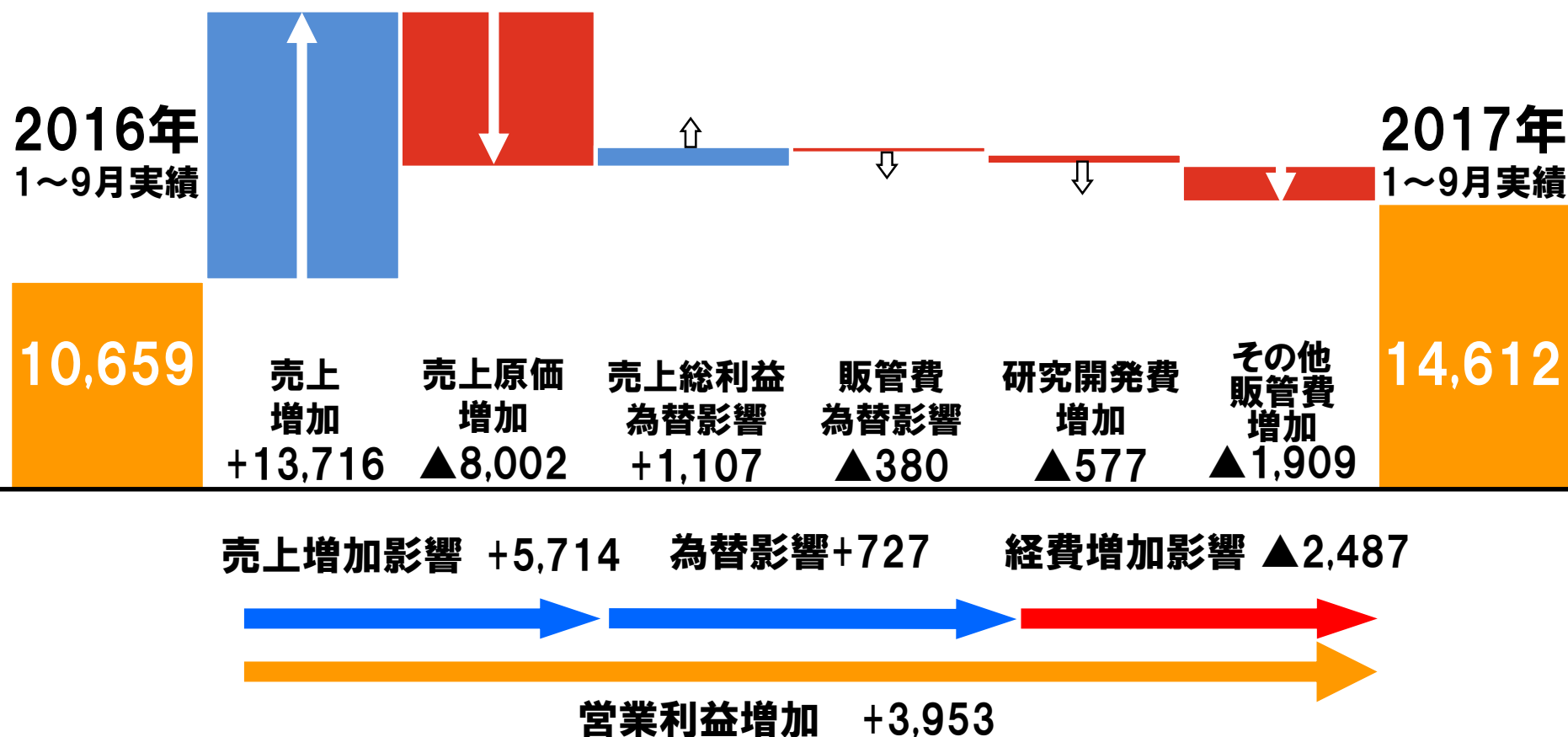


説明内容

- 2017年12月期 実績・予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- **財務データ**
- 会社概要紹介

営業利益分析(前年同期比較)

(単位:百万円)



為替の売上高・営業利益への影響

2017年1-9月実績 為替影響額

2016年1-9月平均実績 USD:108.57円、ユーロ:121.06円

2017年1-9月平均実績 USD:111.89円、ユーロ:124.58円

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	合計	USD	ユーロ	合計	USD	ユーロ
自動車	+133	+180	+257	+68	+11	▲ 13
環境	+129	+59	+36	+18	▲ 4	+17
医用	+384	+107	+208	+39	▲ 5	▲ 5
半導体	+664	+515	+10	+553	+431	+4
科学	+361	+199	+152	+49	+17	+14
合計	+1,671	+1,060	+663	+727	+450	+16

※アジア通貨等の影響により、上記2通貨の影響合計が
全社での影響合計に一致していません。

為替レート2017年通期予想
USD:111円、ユーロ:127円
(4Qのみ USD:108円、ユーロ:134円)

為替感応度
(2017年通期予想)

1円円高による
売上高/営業利益の影響額

売上高

USD

▲469百万円

ユーロ

▲327百万円

営業利益

USD

▲169百万円

ユーロ

▲28百万円

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位:億円)

前回予想より修正無し

		2016年	2017年通期予想			2016年	2017年
		通期実績	前回予想 (8/4)	今回予想	VS 前回予想	1-9月	1-9月
	有形固定資産	134	146	146	-	85	81
	無形固定資産	3	4	4	-	2	2
設備投資額合計		137	150	150	-	87	83
減価償却費		68	72	72	-	49	56
研究開発費		129	140	140	-	94	100
(対売上高比)		7.6%	7.4%	7.3%	▲0.1p	8.0%	7.6%

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

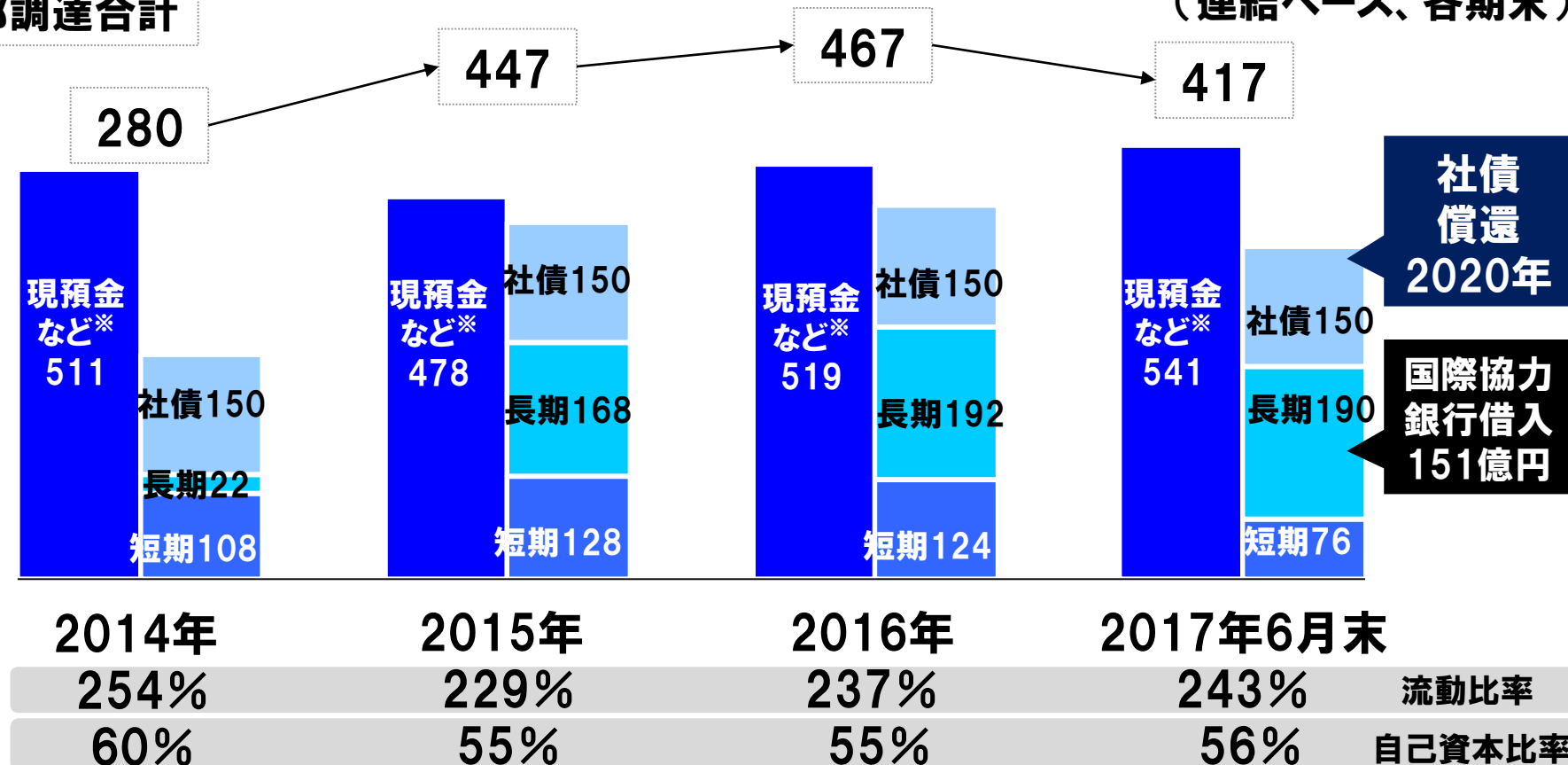
	2016年上期	2017年上期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,987	16,274	+10,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,071	▲ 6,804	▲ 1,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	59	▲ 7,104	▲ 7,164
現金及び現金同等物期末残高	47,719	54,174	+6,454
フリー・キャッシュ・フロー	915	9,470	+8,555

資金の状況

(単位:億円)

外部調達合計

(連結ベース、各期末)



- ・グループ内貸付による外部借入金削減
- ・直近の格付け: R&I「A-」(2017年7月)、JCR「A」(2017年8月)

※現金預金など…現金及び現金同等物の期末残高

説明内容

- 2017年12月期 実績・予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス
- 財務データ
- **会社概要紹介**

会社概要

■ 本社	京都市
■ 創業	1945年
■ 設立	1953年
■ 代表者	堀場 厚(代表取締役会長兼社長)
■ 決算日	12月31日

堀場 厚
代表取締役会長兼社長



- 社は是 -

JOY and FUN

To have interest and pride
in our work to enjoy our lives

おもしろ
がく

事業セグメント

自動車計測システム機器



- ・エンジン排ガス計測システム
- ・自動車試験システム
- ・自動車テレマティクス
- ・車両開発エンジニアリング(ホリバMIRA社)

環境・プロセスシステム機器



- ・大気測定、排ガス測定、水質測定機器
- ・環境放射線測定器
- ・環境規制市場とプロセス市場に対応

医用システム機器



- ・充実の体外検査システム
- ・ホリバABX社の技術とマーケティングノウハウ

半導体システム機器



- ・マスフローコントローラー
- ・薬液濃度モニター
- ・堀場製作所、堀場エステック社、堀場アドバンスドテクノ、ホリバ・フランス社の技術連携

科学システム機器



- ・粒子径分布測定、蛍光X線分析、元素分析装置
- ・ラマン分光、蛍光分光をはじめとする分光分析機器
- ・堀場製作所とホリバ・フランス社の技術連携

事業セグメント

自動車計測システム機器



環境・プロセスシステム機器



医用システム機器



半導体システム機器

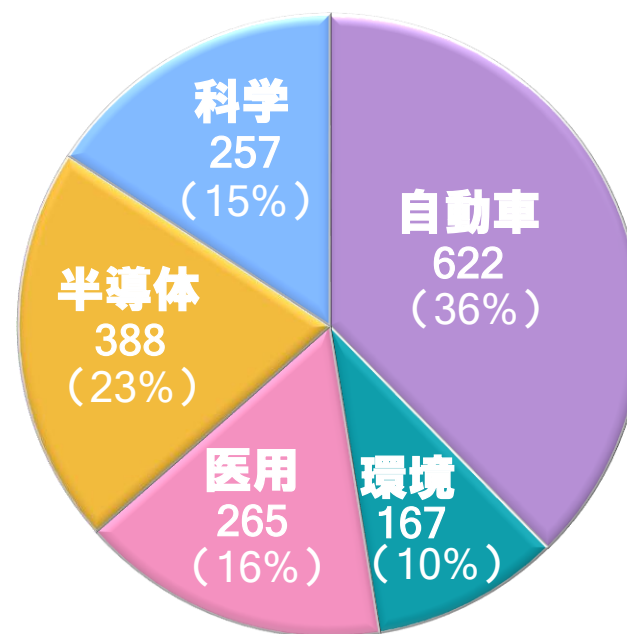


科学システム機器



売上高 1,700 億円

() = 売上高構成比率

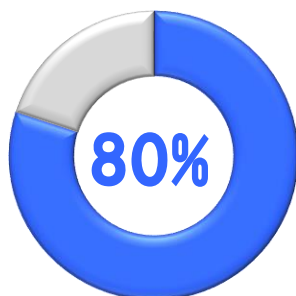


事業セグメント別売上高(億円)

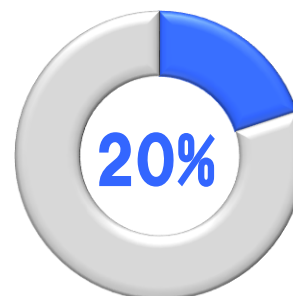
2016年度

世界市場シェア

エンジン排ガス計測システム

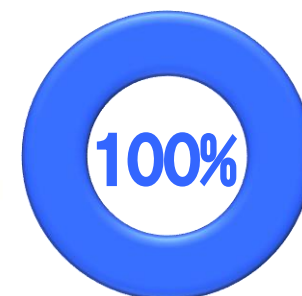


煙道排ガス分析装置



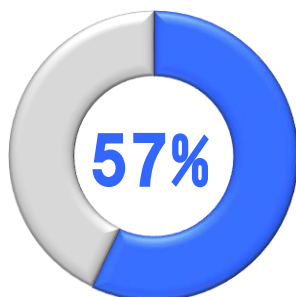
<国内シェア>

血球計数CRP計測装置

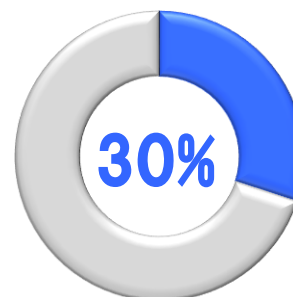


※2015年末調査時点

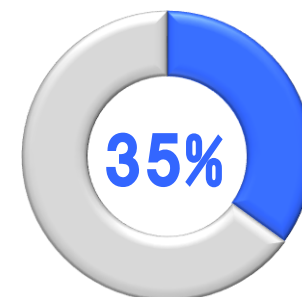
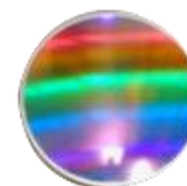
マスフローコントローラー



ラマン分光測定装置



グレーティング

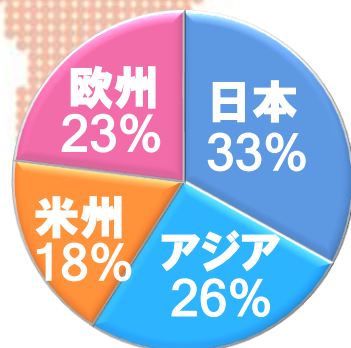


※各製品のマーケットシェアは当社推定値

グローバルネットワーク売上高

(2016年度)
売上高: 1,700億円

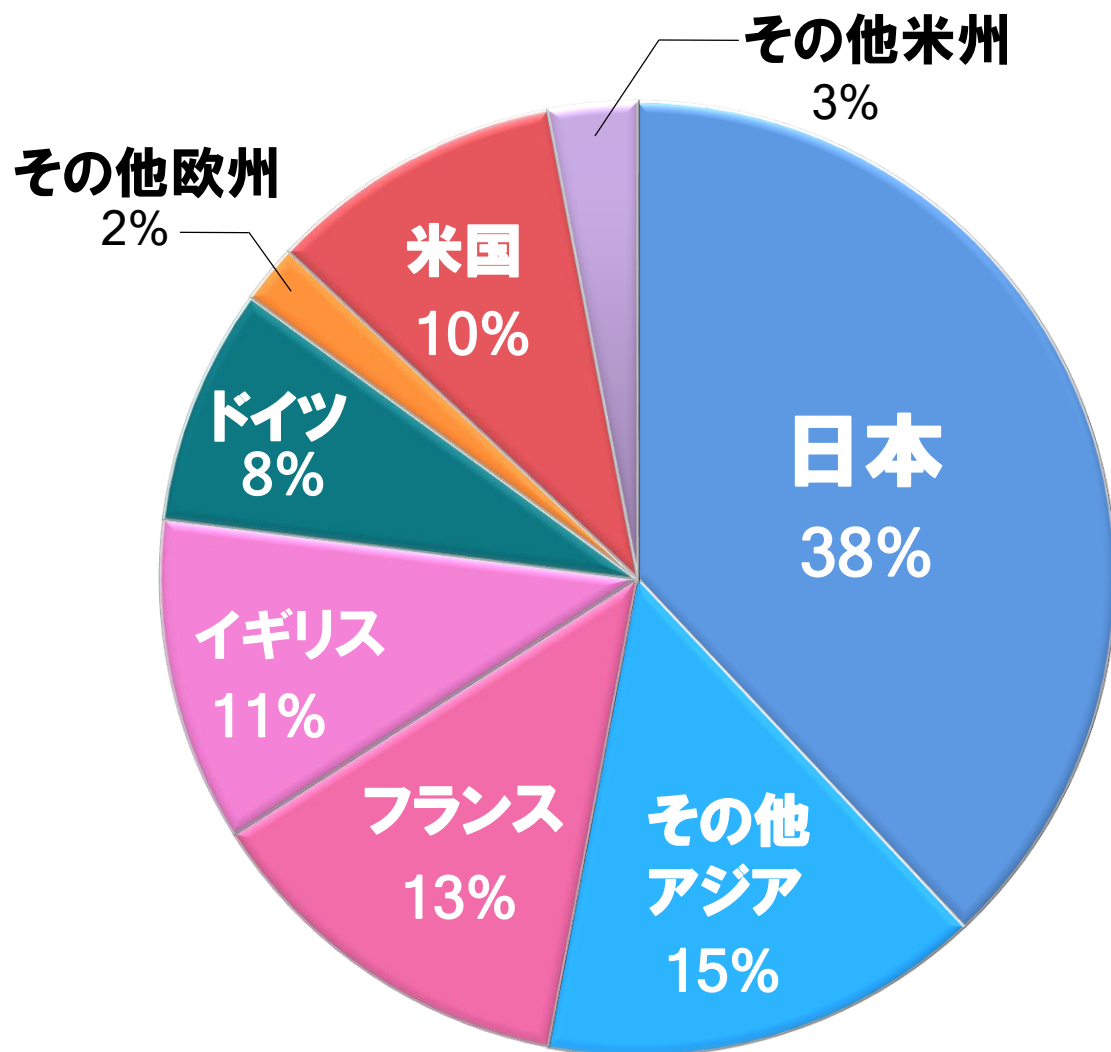
地域別2016年売上高比率



地域別グループ会社数 (2016年12月31日)

米州	9
欧州	23
アジア	17 * 日本4社(堀場製作所含む)
計	49

地域別従業員比



従業員数
2016年12月31日現在

7,149名

アジア: 3,761名

53%

欧州: 2,442名

34%

米州: 946名

13%

ご清聴ありがとうございました。